はままつ

図書館だより

5月号
vol.186
令和4年5月27日
浜松市立図書館

特集

ゾウテン（蔵書点検）のヒミツ

- 音訳ボランティア養成講座募集
- あかちゃんのための絵本講座
- 本で識（し）る浜松の知識－蒲冠者 源範頼－

特集

ゾウテン（蔵書点検）のヒミツ ～休館中のおしごと 紹介します～

蔵書点検（ゾウテン）ってなに？

毎年1回、各図書館が休館して行う「蔵書点検」。職員の間では略して「ゾウテン」とも言いますが、いったい何をしているのかと疑問に思う方もいらっしゃるでしょう。
「蔵書点検」は、図書・雑誌・AV資料など、すべての図書館資料**約260万点**を総点検する、いわば図書館の「棚卸し」。
浜松市立図書館の資料にはICタグが貼られていて、このタグ情報を読み取り、点検をします。

蔵書点検（ゾウテン）の流れ

1 スケジュールを立てる

蔵書点検がゴールデンウィークや夏休み、イベントに重ならないように、全館のスケジュールを立てます。15セットある機材を、市内23館1分室でうまくリレーするために調整します。

2 機材を準備する

蔵書点検では、ノートパソコン・うちわ型のアンテナ・延長コード（リール）などの一式を使用します。点検直前には全員でミーティングを実施して操作の再確認！

▲蔵書点検の機材一式。
これが15セットあります

3 図書館資料のデータを収集する

うちわ型のアンテナを本の間に差し込んで、ICタグの情報を読み取ります。
昔は1冊ずつ点検をしていましたが、2006年に、まとめて複数冊のICタグを読み取り可能なうちわ型アンテナを導入してから、点検作業がとても効率的になりました！

4 データを確認する

収集したICタグの情報を図書館システムに読み込ませて確認します。その後、行方不明資料やICタグの不具合によって読み取れなかった資料を探します。

5 点検終了！

点検作業がすべて終了すると、点検中にブックポストに返された本の返却作業を行います。

★点検中は、ブックポストに返却しても、すぐに返却処理ができません★

大変ですが大切な作業です
スケジュール通り進めるのは大変ですが、行方不明の本が少ない時は、うれしいですね。

中央図書館のゾウテン担当者

気をつけていることは…
金属製の棚はアンテナの読み込みが悪くなるので、特に気をつけてデータ収集します。

ゾウテンは６回目の中堅図書館員

今年の蔵書点検はいつ？

今年の蔵書点検は、5月から城北図書館を皮切りにスタートしています。スケジュールは、先月号の「図書館だより」や各館内のチラシでお知らせしているほか、浜松市立図書館ホームページにも掲載しています。
休館中はご不便をおかけしますが、ゾウテン後のスッキリ整理された図書館で、みなさまをお待ちしています！

蔵書点検のお知らせ（浜松市図書館HP）▲

COLUMN 蔵書点検のことを、昔は「**曝書（ばくしょ）**」と言っていました。
曝書とは、本を天日に当て、紙を食べる虫を追い出すことです。昔の図書館では、資料の総点検だけでなく、本の虫干しも行っていたため、その名残で今も蔵書点検のことをこう呼ぶ人も…（もしいたら、かなりのベテラン図書館員！？）。
現在は洋装本が中心となったため、虫干しの必要性が薄れてきましたが、和紙の本では必要に応じて「曝書」を行っています。右の写真は、４年前、寄贈いただいた地域資料を「曝書」した時の様子です。

本で識る 浜松の歴史

蒲冠者（かばのかじゃ）源範頼（みなもとののりより）

今年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は、鎌倉幕府創立期を描いたドラマです。ドラマの前半は源氏の兄弟たちの活躍や確執が中心となっています。

その中の一人で、源義朝(よしとも)の六男の源範頼は、蒲御厨(かばのみくりや)（浜松市東区・南区）で生まれ育てられました。そのことから蒲冠者（蒲出身の男子）とも呼ばれています。平治元年（1159）の平治の乱以降、範頼は公家の藤原範季(のりすえ)に引き取られ保護を受けました。治承4年（1180）に兄の頼朝(よりとも)の挙兵に呼応し、平家討伐に加わりました。頼朝の命を受けた範頼は東国の御家人たちをまとめる総司令官として、木曽義仲(よしなか)の討伐、引き続き九州の平家軍を鎮圧しました。文治元年（1185）には弟の義経(よしつね)とともに長門国壇ノ浦にて平家を滅ぼしました。しかし、建久4年（1193）に頼朝から謀反の疑いを掛けられて、伊豆国修善寺へ流され、亡くなりました。

兄弟の中では頼朝や義経ほどの知名度はなく、『源平盛衰記(げんぺいじょうすいき)』では凡庸（ぼんよう）な武将と評価され、範頼を語る文献も少数ですが、近年研究が進み、評価が変わりつつある人物です。南区飯田町には、範頼ゆかりの寺院や史跡が伝承とともに残り、大事にされています。

今月の本

- **国史大系 吾妻鏡**
  吉川弘文館
- **新日本古典文学大系 平家物語**
  岩波書店
- **源範頼**　戒光祥出版

- **歴史と伝承のまち 飯田の歴史～蒲冠者 源範頼～**
  飯田郷土史会

図書館からのお知らせ

声のライブラリー 音訳ボランティア養成講座事前説明会

日時：令和4年7月4日（月）13時30分～
場所：浜松市立城北図書館 2階 講座室
※ 事前説明会への参加には申し込みが必要です。
詳しくはホームページをご確認ください。

あかちゃんのための絵本講座

対象：令和3年4月1日以後に生まれた子を持つ保護者、現在妊娠中の方
場所：市内4会場（西図書館 はまゆう図書館 浜北図書館 城北図書館）
※ 参加には申し込みが必要です。
各会場の開催日時と申し込み方法は、ホームページをご確認ください。

はままつ図書館だより No.186（2022年5月27日発行）

浜松市立中央図書館（臨時事務所/臨時窓口）
浜松市中区元城町216−1 浜松城公園南ビル
☎ 053−456−0234　FAX 053−453−2324
✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
ホームページ https://www.lib-city-hamamatsu.jp/

図書館だより
バックナンバー

詳しくは
図書館ホーム
ページをご覧
ください

中央図書館は
8/6
リニューアル
オープン！
（予定）